

Workstation - SAP Concur統合

概要

自分に割り当てられた経費レポートや承認待ちの経費レポートを確認し、すばやくアクセスすることができます。

このアプリを使えば、レポートの提出状況をフォローアップして、支払いに間に合うようにすべてを提出することができます。

SAP ConcurをWorkstationに接続するとウィジェットが追加され、経費レポートを確認し、すばやくアクセスすることができます。

管理者設定が必要です

この統合には、組織のWalkMe管理者による設定が必要です。管理者の場合は、この記事の「SAPConcurでアプリを構成する」セクションを参照して構成してください。

WorkstationでSAP Concurを接続する

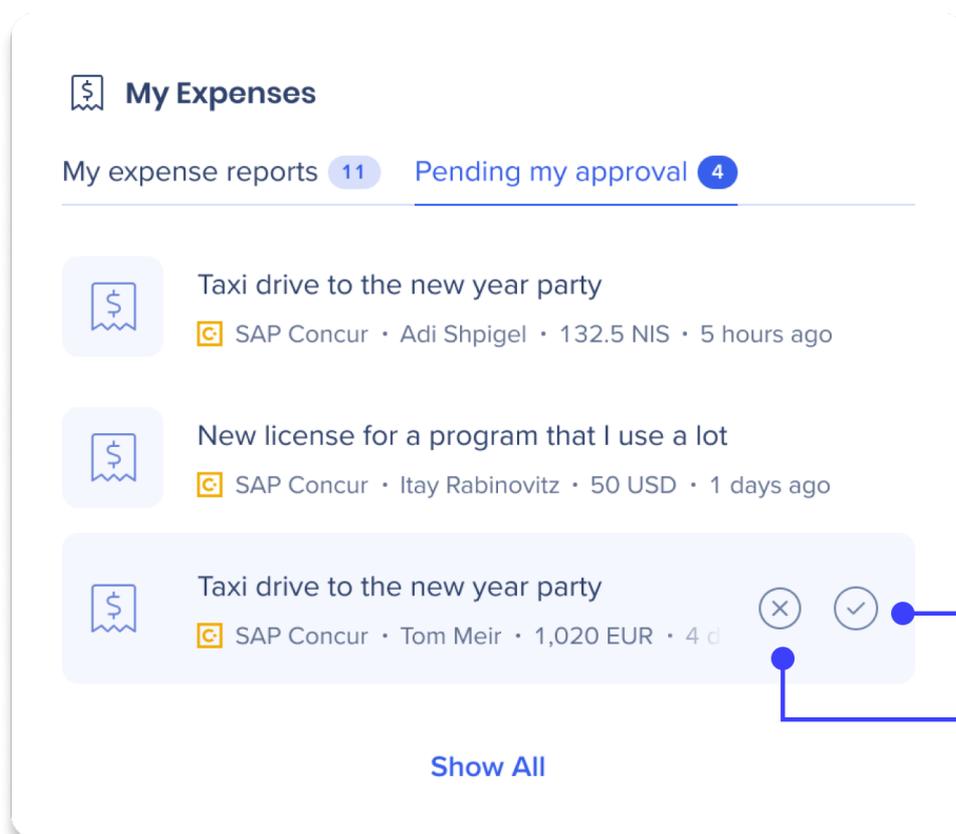
1. WindowsでウィジェットをクリックするかMacでメニューバーのWalkMeアイコンをクリックまたはctrl/cmd+shift+Eキーを押してWorkstationメニューを開きます
2. [設定] -> [統合] -> [SAPConcur] に移動します
3. [接続]をクリックします

SAP Concurカードが利用できない場合、組織のWalkMe管理者に連絡し、WalkMeコンソールからWorkstationでSAP Concurを有効にするように依頼してください。

制限

承認待ちのリンクは毎回認証する必要があります - これは セキュリティ上の理由によるConcur側の制限です。

詳細



ウィジェットには2つのタブがあります：

1. **[マイ経費]**：このタブには、あなたが提出し、払い戻しを待っている（立て替えた分の）経費の一覧が表示されます。タブには以下の内容が表示されます。
 - レポート名
 - 合計金額（数字 + 通貨）
 - ステータス（未提出、提出）
 - 変更日
2. **承認待ち**：このタブにはレビューを待っている費用の一覧が表示されます。タブには以下の内容が表示されます。
 - レポート名
 - 従業員名
 - 合計金額（数字 + 通貨）
 - 変更日

経費を承認または拒否する

[承認待ち]タブに経費がある場合、ウィジェットから直接承認または拒否できます。

経費を承認するには□

1. 承認したい経費の**チェックマーク**をクリックします
2. 表示されるポップアップで経費を確認し、コメントを追加できます（オプション）
3. 準備ができたなら、[承認]をクリックします

経費を拒否するには

1. 拒否したい経費の横にある**x アイコン**をクリックします
2. 表示されるポップアップで経費を確認できます
3. 経費が拒否された理由についてのコメントを追加します
4. [拒否]をクリックします

セキュリティ概要

[Workstationの統合セキュリティ](#)と[Workstationのエンタープライズ検索](#)の詳細をご覧ください。

管理者設定

SAP Concur統合は、コンソール上の組織の管理者によってAPIキーにより設定されます。設定して有効にすると、そのシステム上のWorkstationに自動的に追加されます。

設定要件

WalkMeコンソール経由でSAP Concurを設定するための要件は次のとおりです。

- 管理者アクセス権限によりSAP Concurでアプリを作成できます
- WalkMeコンソールへの管理者アクセス
- 以下のフィールドは、コンソール経由で統合を有効にするために入力する必要があるフィールドです。
 - サブドメイン
 - OAuthクライアントID
 - OAuthクライアントシークレット
 - マイレポート承認ステータスコード
 - （オプション）空白のままにした場合、デフォルトのステータスコードが使用されます
 - 承認待ちステータスコード
 - （オプション）空白のままにした場合、デフォルトのステータスコードが使用されます

さらに読み進むことで、各フィールドの情報がわかります。

Configuration Setup

×

Sub Domains

The sub-domain that was assigned to you by SAP Concur

OAuth Client ID

The client identifier for background authentication.

OAuth Client Secret

The secret token for background authentication.

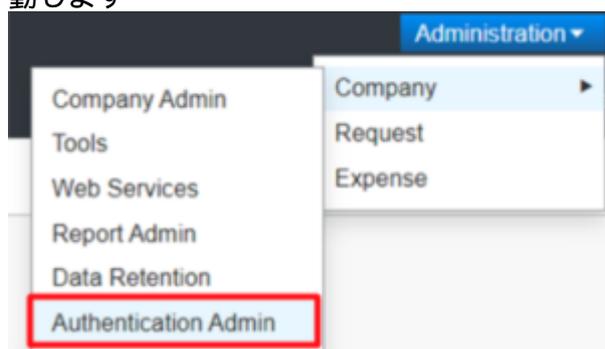
My Reports Approval Status Codes

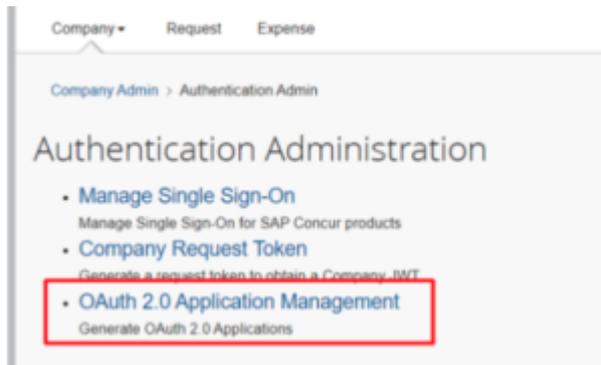
Pending Approval Status Codes

Reset Data
Cancel
Save
Save And Enable

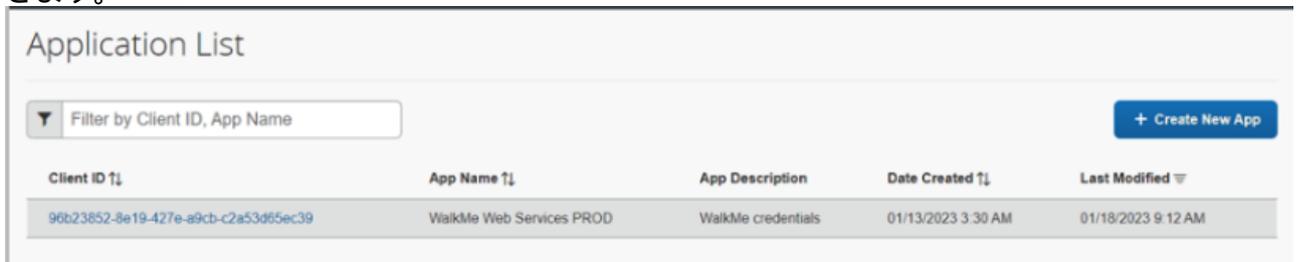
ステップ1 SAP Concurでアプリを設定する

1. SAP Concurにログインし、>[管理会社]>[認証管理者]>[OAuth 2.0 アプリケーション管理]に移動します

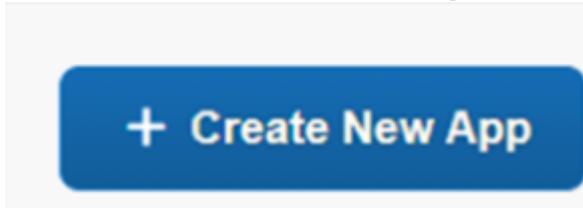




2. このオプションにアクセスすると、環境で既に作成されたすべての認証情報を見つけることができます。



3. 新しい認証情報を生成するには、[新しいアプリの作成] をクリックします。

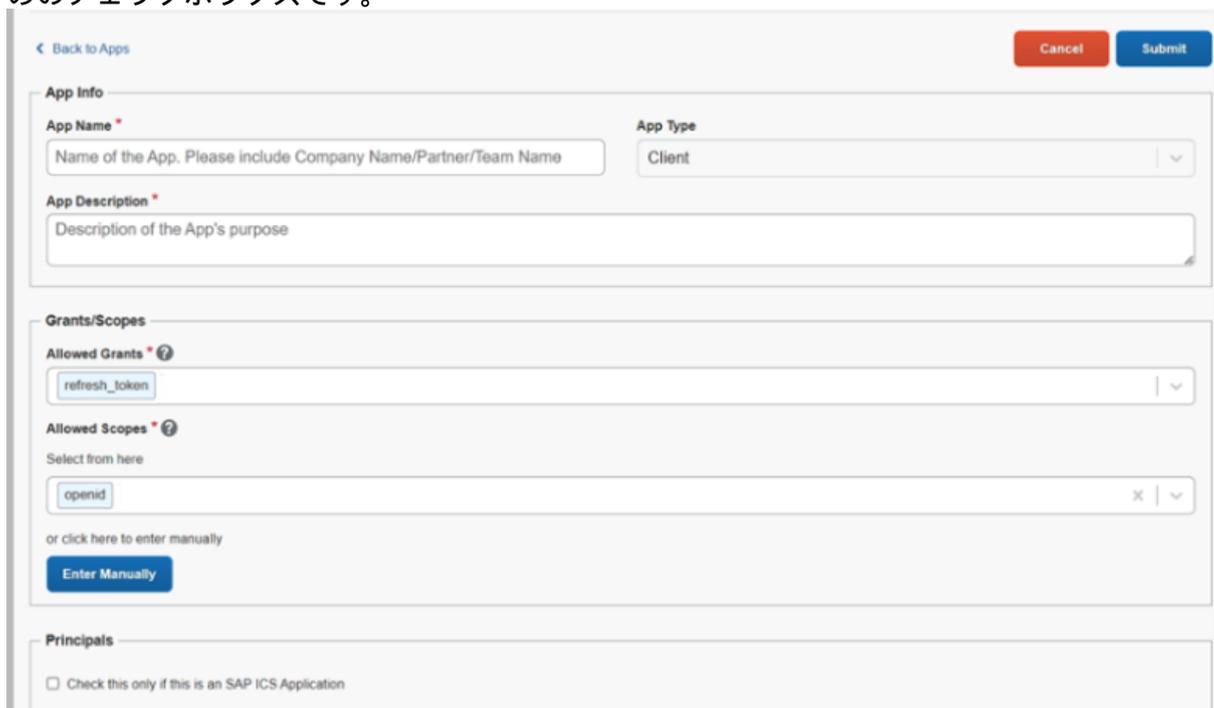


4. 必須フィールドを入力します：構造に続いて、アプリ名、アプリの説明、許可されたグラント、許可されたスコープ
- アプリ名：[Workstation]
 - アプリのタイプ：変更は必要ありません。
 - アプリの説明 [Workstation]
 - 許可されたグラント [refresh_token][Password][client_credentials][authorization_code][otp]
 - リダイレクトURI
 1. <https://workstation.walkme.com/sapconcur/connected>
 2. <https://eu-workstation.walkme.com/sapconcur/connected>
 - 許可されたスコープ – 以下のものを追加します –
 1. openid
 2. expense.report.read
 3. receipts.read
 4. user.read
 5. identity.company.core.read
 6. company.read
 7. purchaserequest.read
 8. budgetitem.read
 9. user_read

10. profile.user.generalemployee.read
11. travel.itinerary.read
12. identity.user.core.read
13. identity.user.ids.read
14. identity.user.enterprise.read
15. travel.user.general.read
16. travel.user.private.read



- プリンシパルズ – このボックスにはチェックを入れないでください。ICSリソースのみのためのチェックボックスです。



- 「提出」をクリックすると、クライアントIDとクライアントシークレットが生成されます。このシークレットを取り出すことができるのは、この時だけです。

ステップ2 WalkMeコンソールで設定を設定します

1. WalkMeコンソールでWorkstation統合ページに移動します : <https://console.walkme.com/workstation/integrations>
2. SAP Concurを検索する
3. 設定をクリックします

4. ポップアップに情報を入力します
 1. サブドメインの例：eu2またはus2
 2. オプションで、マイルポート承認と承認待ちのカスタムステータスコードを追加します
 - ステータスコード間にコンマを追加すると、複数を含めることができます
 - デフォルトのステータスコードを使用する場合、両方のフィールドを空白のままにしてください。
 - 経費レポート：A_ACCO,A_NOTF,A_PEND
 - 承認待ち：A_PEND
5. **Save and Enable**をクリックします。
6. WorkstationでSAP Concurが有効になりました

セグメンテーション

統合は、すべてのエンドユーザーで有効になるのではなく、ユーザーとオーディエンスのサブセットにセグメント化されます。この機能は、統合プロセスを合理化し、ユーザーが作業関連の統合のみを使用していることを確認するのに役立ちます。

Workstationの統合をセグメント化するには：

1. コンソールで[\[Workstation統合\]ページ](#)に移動します
2. セグメント化したい統合で、**[すべてのボタン]**をクリックします
3. アクセスの管理ポップアップで**[特定の受信者を選択]**をクリックします
4. ドロップダウンからオーディエンスまたは個々のユーザーを選択し、統合を使用できるユーザーを選びます
5. **適用**をクリック



< **Manage access** ×

Select who can use this integration

All recipients

Select specific recipients...

Audiences

▼

Individual recipients

▼

Cancel Apply

[Workstation用の他の利用可能な統合を確認してください](#)